

【EMD.GR.JP 掲載のニュース】

(2005年6月15日～

2005年7月15日分)

エイバックス、iTunes Music Store に楽曲提供を決定

エイバックス ネットワークは、米 Apple Computer の 100%子会社「アイチユーズ株式会社」が日本国内でサービス提供を予定している音楽配信サービス「iTunes Music Store (iTMS)」向けに楽曲提供することで最終合意したと発表した。

最終合意を受けてエイバックスでは、同社が権利を保有するシングル楽曲やアルバム楽曲に加えて、iTunes Music Store 向けの限定楽曲を提供していく予定。

また、今後も両社間で連携を深めて新しいサービスを追求していくとしている。

(7/15)

J:COM、2005年6月末の J:COM NET 加入数が 80 万を突破

ジュピターテレコム (J:COM) は、同社が運営する CATV 局 17 社 32 局の 2005 年 6 月末現在における加入世帯数を発表した。インターネット接続サービス「J:COM NET」の加入者数は、2005 年第 2 四半期で 3 万 1,300 世帯増加の 80 万 8,500 世帯。

J:COM 全体の総加入世帯数は 195 万 5,800 世帯で、前年同期比で 6.4% 増加。なお、1 世帯あたりの複数サービス加入率は 2004 年 6 月末の 1.60 から 1.70 に拡大。

J:COM NET 以外の 2005 年第 2 四半期における加入者数は、テレビ放送サービス「J:COM TV」が 2 万 7,600 世帯増の 165 万 6,400 世帯。このうち J:COM TV デジタルの加入者数は 42 万 6,000 世帯。

電話サービス「J:COM PHONE」は、4 万 7,300 世帯増の 85 万 9,200 世帯。

前年同期比からの増加数は、J:COM NET が 10 万 7,600 世帯 (15.4%)、J:COM TV が 7 万 8,400 世帯 (5.0%)、J:COM PHONE が 20 万世帯 (30.3%) の増加。

(7/13)

NTTグループ内の公衆無線 LAN 基地局を統合

NTT ブロードバンドプラットフォーム (NTTBP) は、NTT 東日本および NTT 西日本、NTT ドコモが提供する公衆無線 LAN サービスの保有および運用を行うことで合意したと発表した。

NTTBP では、私鉄沿線を中心とした公衆無線 LAN サービス「無線 LAN 倶楽部」を提供しているが、NTT グループ内で共通的にサービス展開を図るエリアでの効率的かつ迅速なアクセスポイント構築を目的として、事業方針をアクセスポイントの保有・運営に変更する。

これに伴い、NTTBP は、NTT 西日本及び NTT ドコモより一部のアクセスポイントを譲り受けるとともに、各社が共通的にサービス展開を図るエリアにおいて、効率的かつ迅速なアクセスポイント構築及び運用を行う。

また、NTT 西日本と NTT ドコモは、NTTBP の株式を 100% 所有する NTT 東日本と株式譲渡契約を締結し、発行済み株式総数の 60% を取得する。

なお、NTTBP の事業方針の転換に伴い、「無線 LAN 倶楽部」サービスについては 2005 年 12 月を目処に提供を終了する予定。

今後、NTTBP では、2006 年度末までに全国約 7,000 アクセスポイントの設置を進める予定としている。

(7/12)

マイクロソフト、車載情報端末向けソフトウェアプラットフォームを発表

マイクロソフトは、車載情報端末向け車載情報端末向けソフトウェアプラットフォーム「Windows Automotive 5.0」を自動車メーカー/車載情報端末メーカー/車載情報端末開発者向けに提供開始したと発表した。

同プラットフォームは、Windows CE 5.0 をベースとした車載情報端末向けにカスタマイズされた車載情報端末向けソフトウェアプラットフォーム。

Windows CE 5.0 とほぼ同様のコアに、ヒューマンインターフェイスの「Automotive UI Toolkit (AUI)」、性能チューニングツール「Automotive System Tools」などの自動車向けコンポーネントなどを追加した。

また、従来の「Windows Automotive 4.2」より仮想メモリ空間の拡大 (32MB→96MB)、アンチエイリアスフォントのサポートや半透明レンダリングなどの描画機能の強化、XML ベースによるスキン編集機能の強化などが行なわれている。

(7/12)

矢野経済、ブロードバンド環境におけるコンテンツ利用意識を調査

矢野経済研究所は、ブロードバンド環境におけるコンテンツ利用意識調査の結果を発表した。

アンケートは同社の予備調査の中から、「日常的に音楽を聴いているユーザー」を対象に実施。音楽利用に関するアンケート調査として 2005 年 3 月 12 日から 16 日まで行われ、10 代から 50 代以上の 1,076 名の有効回答を集めている。

音楽を視聴する機器については、ミニコンポ、ラジカセ等が 63.8% でトップ。カーオーディオ (44.7%)、パソコン (42.8%)、ポータブル MD (22.9%)、ポータブル CD (18.0%)、フラッシュタイプのデジタルプレーヤー (6.1%)、カセットプレーヤー (6.0%)、HDD タイプのデジタルプレーヤー (5.8%)、MP3 再生機能付き携帯電話 (4.1%) と続いている。デジタルオーディオプレーヤーの合計では 11.9%。

インターネット上の音楽配信サービスについては、購入経験有りが 15.8%、サイト訪問経験あり (購入せず) が 23.2%、利用経験無しが 61.0%。

購入経験者 170 人の利用サイトは、携帯電話向けサービスの KDDI の「着うたフル」とソニーミュージックの bitmusic が 24.1% で並んでおり、3 位は Yahoo! ミュージックが 18.2%。

音楽配信サービスの便利な点については、自宅で購入できる (63%)、視聴してから購入できる (59.7%)、時間を気にしないで購入できる (52.7%)、1 曲単位で購入できる (47.5%) などが上位に入っている。

一方、不満点については決済時の個人情報漏洩 (36.5%)、価格が高い (34.9%)、パソコンでしか再生できない (31.5%)、専用プレーヤーソフトが必要 (26.5%)、CD-R に保存できない (25%) などが挙げられている。

(7/12)

イー・アクセス、Mobile WiMAX の実験を実施へ

イー・アクセスは、現在参入を希望している第3世代携帯電話システムである W-CDMA (HSDPA) を補完するシステムの1つとして、Mobile WiMAX (IEEE 802.16e) への取組みを本格化、実験に向けた準備を開始したと発表した。

IEEE802.16e 方式は、移動体通信に対応した通信方式。固定での無線通信である WiMAX は既に標準化が終わっているが、移動体通信対応の同方式については、標準化が完了していないこともあり、将来的なサービスとされるケースが多い。

イー・アクセスでは、Wi-Fi / Mobile WiMAX は W-CDMA と組み合わせることで、将来的に高トラフィックエリアでの周波数有効利用と高速・高スループットへのユーザーニーズを満たすことが可能となり、特に Mobile WiMAX は Wi-Fi に比べてモビリティに優れているとしている。

(7/11)

USEN、光ファイバサービスの取り付け総数が6月末で32万件突破

USEN は、2005年6月30日現在でのブロードバンド事業の進捗状況を発表した。

これによると、工事日が確定している契約者数が前月比 22,257 増の 489,370 件、回線が開通している取付数が前月比 16,382 増の 326,755 件となった。

なお、取付数の内訳では、6月の完成数が 19,404 件、解約数が 3,022 件となっている。

また、形態別の内訳では、戸建てが前月比 52 減の 8,277 件、集合住宅が前月比 15,860 増の 297,721 件、法人用途のオフィス・商業ビルが前月比 574 増の 20,757 件となっている。

同様に、集合住宅における1棟あたりの平均加入戸数は 6.29 (集合住宅 8.52、法人用途のオフィス・商業ビル 1.32)、集合住宅取付棟数は前月比 1,305 増の 50,603 (集合住宅 34,924、法人用途のオフィス・商業ビル 15,679) となっている。

(7/8)

総務省、2005年3月末のブロードバンド契約者数を公表

総務省は、2005年3月末現在のブロードバンド契約者数等の推移を発表した。2005年3月末の FTTH、DSL、CATV を合計したブロードバンドの契約者数は 19,487,757 契約。

インターネット接続サービスの契約者数は、契約者数 5 万以上の 35 事業者の合計で 29,689,396 契約、カテゴリ別に見ると FTTH が 2,852,205 契約と 280 万を越え、DSL が 13,675,840 契約、CATV が 2,959,712 契約となっている。

前々回から公開されるようになった FWA は 2005年3月末で 24,658 契約と減少傾向が続いている。一方、公衆無線 LAN サービスは 117,307 契約となっている。

(7/8)

三洋、音楽再生対応の miniSD スロット付きボイスレコーダを発表

三洋電機は、ボイスレコーダ「DIPLY TALK (ディプリートク)」シリーズの新モデルとして、音楽再生も可能な「ICR-S310RM」を 2005年8月21日に発売すると発表した。

ICR-S310RM は、512MB のフラッシュメモリを搭載したボイスレコーダ。miniSD カードスロットも備えており、カードを増設することでメモリ容量が増やせる。

対応する音声圧縮形式は WMA/MP3。再生可能なビットレートは MP3 が 16~192kbps、WMA が 32~160kbps。

ステレオマイクを内蔵しており、録音フォーマットは MP3。録音モードは XHQ/SHQ、HQ、SP、LP を用意。なお、内蔵メモリと miniSD カードに連続して録音することはできない。

MP3 フォーマットながら、録音済み音声の早聞き、遅聞き機能を搭載。早聞きは約 20%、遅聞きは約 25% の再生速度変更が行なえる。

また、MP3 だけでなく、PC から転送した WMA フォーマットのファイルでも同様の再生速度変更に対応。さらに、録音中にマーキングを行なうと、その部分からの再生頭出しが可能なインデックス機能も利用できる。

PC とのインターフェイスは本体に USB 端子を直付けしているため、別途ケーブルなどを使わずに PC に接続できる。また、端子部は 270 度回転可能で、PC 側の USB 端子が縦の場合でも無理のない接続が行なえる。

USB ストレージクラスに対応しており、専用ソフトなどを使わずに録音した音声ファイルの転送や、音楽ファイルの転送が可能。

ほかにも、ファイル分割機能やタイマー録音/再生、レジューム再生機能、プリセットイコライザー、BASS 設定、ヘッドフォンを利用する録音モニター機能なども備えている。

マイクは内蔵のステレオマイクに加え、ステレオミニのマイク入力も用意。プラグインパワーに対応した外部マイクも利用できる。また、ヘッドフォン端子やスピーカーも内蔵している。

電源は単 4 電池 2 本。SP モード利用時の連続録音時間は約 36 時間、再生は約 34 時間。外形寸法は約 38 × 22.4 × 118mm (幅 × 奥行き × 高さ)。電池を含む重量は約 85g。

カラーリングはシルバーのみ。価格はオープン。

(7/8)

日立 GST、AV 用途に対応する 2.5 インチ HDD を発表

日立グローバルストレージテクノロジーズ (日立 GST) は、2.5 インチ HDD「Travelstar 4K120 シリーズ」を開発したと発表した。

容量は 120/100/80/60/40GB の 5 モデルを用意し、すでに出荷開始している。

映像や音楽などのストリーミング機能を向上させる AV コマンドセット「Smooth Stream」に対応し、ノート PC のほか、HDD レコーダなどの用途にも応用が可能。インターフェイスは ATA-7。

ディスク回転数は 4,200rpm。従来モデルに比べて、主要電子部品の消費電力を約 30% 低減するという新技術「HiVERT」(Hitachi Voltage Efficiency Regulator Technology) を採用した。

さらに、他の消費電力制御技術と連携し、スタートアップ (マックス) 時が 4.5W、リード/ライト時は 1.4W、同社の検証では、同クラスの製品と比べても

22~64%低いという。

耐衝撃性は、動作時 300G、非動作時 1,000G。動作音はアイドル時が 2.0~2.3 ベル、シーク時が 2.4~2.7 ベル。バッファ容量は 2~8MB。外形寸法は 70×100×9.5mm(幅×奥行き×高さ)、重量は 95~99g。

(7/6)

RIAJ、個人ユーザーと日本初の損害賠償支払い等に関する合意

社団法人日本レコード協会(RIAJ)は、会員であるレコード会社 5 社が、ファイル交換ソフトを利用して音楽ファイルを不正にアップロードしていた個人ユーザー 5 名と個別に交渉を行ない、損害賠償金の支払いなどにより和解したと発表した。

各社は、昨年より「プロバイダ責任制限法」第 4 条第 1 項に基づき、ISP 13 社に対してユーザー 44 名の氏名、住所等の情報の開示を請求。開示されたユーザーとレコード会社が損害賠償に関して交渉し、和解に至った。

和解交渉は、レコード会社代理人弁護士の法律事務所面で面談による方法で行われ、レコード会社側からは、著作権等を侵害する違法なファイル交換が音楽産業に重大な損害を与えることを説明。各ユーザーからは、違法行為に対する反省と謝罪の言葉が述べられ、今後二度と同様の権利侵害をしないことを約束する誓約書が提出された。

また、レコード会社に和解金が支払われ、一人当たりの和解金額は平均 48 万円。今回の和解は各ユーザーの反省を評価しての解決であり、悪質な侵害行為に対して、今後、より厳しい法的措置もあり得るとしている。

RIAJ は、ファイル交換ソフトを利用した不正な音楽ファイルのアップロードに対して、昨年 3 月よりインスタントメッセージを利用した警告を始めており、現在までの送付数は 700 万通を超えるとしている。

(7/6)

オリンパス、フラッシュメモリアイブの携帯ミュージックプレーヤー発表

オリンパスイメージングは、オーディオプレーヤー「mrobe」シリーズにフラッシュメモリモデルを追加、1 型カラー有機 EL 搭載の「MR-F10」を 2005 年 7 月

下旬に、FM チューナ内蔵 1.1 型有機 EL 搭載「MR-F20」を 2005 年 8 月下旬に発売すると発表した。

MR-F10 は、鏡面蒸着を使用した表面処理を施した、ネックレスタイプのデザインを採用。512MB モデルと、1GB モデルをラインナップ。本体カラーは、512MB モデルにブラックとホワイトの 2 色、1GB モデルはブラックのみを用意する。

対応する音声圧縮形式は WMA/MP3/OGG。WMA の DRM にも対応している。音質調整機能としては、SRS の「WOW」を装備するほか、4 種類のプリセットイコライザー「ROCK/JAZZ/CLASSIC/POP」を搭載し、2 つのユーザー設定も可能。

さらに、MP3 形式でのダイレクトエンコーディング機能も搭載。自動シンクロ機能により、音楽を記録する際に無音部分を検出し、曲ごとにファイルを区切って保存することができる。またマイクも内蔵し、MP3 形式(モノラル)で、ボイスレコーディングも可能。

PC とのインターフェイスは USB 2.0。USB 端子経由の充電も可能。バッテリーはリチウムポリマーを内蔵し、再生時間は約 10 時間(MP3)。ネックストラップ兼用イヤホンや、USB ケーブル、ミニ USB 変換アダプタ、LINE-IN ケーブルなどが付属する。

外形寸法は 32×15×65mm(幅×奥行き×高さ)、重量 25g(内蔵バッテリー含む)。

MR-F20 は、「mrobe」シリーズのコンセプトカラーである「白」を基調とし、電源を入れた時に赤く浮かび上がる操作キーとブラックフェイスのコントラストに特徴を持たせ、同シリーズ「mrobe MR-100」との統一感を強調。512MB モデル(ホワイト)の 1 モデルのみを用意する。

対応する音声圧縮形式は WMA/MP3/OGG。WMA の DRM にも対応している。音質調整機能としては、SRS の「WOW」を装備するほか、4 種類のプリセットイコライザー「ROCK/JAZZ/CLASSIC/POP」を搭載し、2 つのユーザー設定も可能。

本体の有機 EL ディスプレイには、JPEG 画像を PC から転送して表示することができ、スライドショー機能も搭載している。

さらに、WMA 形式でのダイレクトエンコーディング機能も搭載。またマイクも内蔵し、WMA 形式(モノラル)で、ボイスレコーディングも可能。FM チューナも内蔵しており、WMA 形式で録音できるほか、予約録

音にも対応している。

PC とのインターフェイスは USB 2.0。USB 端子経由の充電も可能。バッテリーはリチウムポリマーを内蔵し、再生時間は約 11 時間(MP3)となっている。FM ラジオのアンテナとしても機能するステレオイヤホンや、USB/LINE-IN ケーブル、ストラップなどが付属する。

外形寸法は 34×14×63mm(幅×奥行き×高さ)、重量 32g(内蔵バッテリー含む)。

価格はいずれもオープン。

(7/6)

無線 LAN と WiMAX のモバイルサービスが開始へ

ドリームテクノロジーズ、平成電電が共同出資するジョイントベンチャー、ジャパンワイヤレスは、2005 年 11 月より無線 LAN や、WiMAX を利用した無線ブロードバンド事業を展開すると発表した。

同社の採用する無線技術は、MIMO 新技術を利用した WiMAX 及び WiFi で、従来の WiFi を利用した無線 LAN サービスに比べ、広域・広帯域・高速・高効率のワイヤレスモバイルサービスの提供が可能となる。バックボーンには、平成電電が既に敷設済みの全国 33,000 km の光ファイバーネットワークを利用する。

2005 年の参入当初は、政令指定都市を中心に企業内無線ネットワークソリューションや、無線アクセスポイント周辺での高速公衆無線 LAN サービス(データ通信)を提供し、2006 年には、WiMAX の周波数帯域を確保し、WiMAX・WiFi を併用したワイヤレスモバイルサービス(高速データ通信及び音声通信)を提供する計画。

なお、無線通信のセキュリティ技術ではオープンループ、無線アクセスポイント機能を備えた複合機の展開ではアドテックスと協業していくとしている。

(7/5)

MCF、モバイルコンテンツ市場に関する調査結果を公表

モバイル・コンテンツ・フォーラム(MCF)は、2005 年 5 月末に発表した携帯向けコンテンツの市場規模レポートに関して、その内訳となる「着メロ市場」「着うた

た市場」「モバイルゲーム市場」の市場規模データを発表した。

今回発表された調査データは、携帯電話向けコンテンツの2004年の市場規模の内訳にあたるもの。

最も著しい成長を遂げたのは「着うた市場」で、前年比718%の201億円となった。「着メロ市場」は前年比106%となる1.167億円で、「モバイルゲーム市場」は前年比153%の412億円。

MCF では、「着うた市場」は着うたフルの登場などの要因で今後も成長が見込まれ、携帯電話が楽曲販売チャネルとしての地位を確立すると分析している。

(7/4)

サムスン、3色に着せ替え可能なデジタルオーディオプレーヤー発表

日本サムスは、本体にクリップを搭載したフラッシュメモリ型ポータブルオーディオプレーヤー「YP-F1ZB」を2005年8日に発売すると発表した。

YP-F1ZBは、背面にクリップを備えており、衣服などに簡単に装着できるというプレーヤー。丸型の筐体デザインを採用し、ネックバンドタイプのイヤホンも付属。首から下げるアクセサリのように身につけられる。

対応する音声圧縮形式は WMA/MP3/OGG/ASF。ビットレートは MP3 が 8~320kbps、WMA が 48~192kbps、ASF が 8~192kbps。SRS の WOW を内蔵する。

白色 LED バックライトを備えた液晶ディスプレイを備え、解像度は 128×48 ドットで 3 行表示が可能。ID3 タグの日本語表示をサポート。また、中国語、韓国語、フランス語など 15 カ国語の表示にも対応している。

マイクも内蔵しておりボイスレコーディングも可能。WAV 形式で録音できるほか、内蔵の FM チューナからラジオ番組の MP3 録音も可能。

PC とのインターフェイスは USB 2.0。転送速度は 24Mbps。ストレージクラスをサポート。対応 OS は Windows 98 SE/Me/2000/XP。電源はリチウムポリマー充電電池を使用。連続再生時間は約 10 時間。充電所要時間は約 2.5 時間。

外形寸法は 63.5×29×15mm(縦×横×厚さ)。重量は 32g。メモリ容量 1GB モデルのみで、ブラック、ブルー、レッドの 3 色の着せ替え用カバーが付属する。価格はオープン。

(7/4)

アップル、「iTunes 4.9」の Windows 用日本語版を公開

アップルコンピュータは、「iTunes」の最新版として、PodCasting に対応した「iTunes 4.9」の Windows 用日本語版を公開した。

同社では Mac 向けの iTunes 4.9 日本語版を 2005 年 6 月 28 日に公開、Windows 向けの日本語版については近日中に公開するとしている。

PodCasting とは、インターネットラジオなど、Web 上の音声ファイルを RSS(サイトの更新情報をまとめ、配信するための文書フォーマット)を利用してダウンロードするシステム。

iTunes 4.9 では、新たに Podcasting の検索や管理を行なう「Podcast Directory」機能を搭載。ABC News、BBC、Disney、Newsweek などの人気番組や、個人が運営する 3,000 以上の無料 Podcasting を聴いたり、新着の番組を PC に取り込むことができる。

PC に取り込んだ番組については、Auto-Sync により iPod に自動的に収録される。

プログラムサイズは約 22MB。対応 OS は Windows 2000/XP。

(7/4)

「Yahoo! BB モバイル」、試験サービスを終了

ソフトバンク BB は、同社が現在無料提供中の公衆無線 LAN サービス「Yahoo! BB モバイル」の試験サービスを 2005 年 10 月 2 日をもって終了すると発表した。

Yahoo! BB モバイルは、「Yahoo! BB」のインフラを活用した IEEE 802.11b 準拠の公衆無線 LAN サービス。

2002 年 5 月に試験サービスを開始し、2004 年 7 月からは IEEE 802.11g に準拠したアクセスポイント

の設置を開始し、2005 年 6 月末ではマクドナルドや銀座ルノアールなどの飲食店や主要空港、ホテルなど合計 682 カ所のアクセスポイントを設置している。

ソフトバンク BB では、今後も引き続き公衆無線 LAN サービスを提供していくため、当試験サービスの結果を検証した上で、新たな商用サービスを開始する予定としている。

(7/1)

マイルストーン、5色カラーのデジタルオーディオプレーヤーを発表

マイルストーンは、512MB フラッシュメモリ内蔵のオーディオプレーヤー「GROOVOX CANDY(グルーヴボックス キャンディ)」(MMGVF620)を2005年7月15日に発売すると発表した。

YP-F1ZBは、背面にクリップを備えており、衣服などに簡単に装着できるというプレーヤー。丸型の筐体デザインを採用し、ネックバンドタイプのイヤホンも付属。首から下げるアクセサリのように身につけられる。

対応する音声圧縮形式は WMA/MP3。WMA の DRM もサポートし、対応ビットレートは MP3 が 8~320Kbps、WMA が 8~192Kbps。

イコライザは Normal/Rock/Jazz/Classic/Pops に加え、ユーザー設定も 1 種類登録可能。さらに、SRS WOW も搭載する。また、再生速度を 50~150%の間で 21 段階調整できるほか、5~30 秒のイントロ再生も行なえる。

液晶ディスプレイはブルーバックライトを搭載し、4 行表示が可能。ID3 タグ表示にも対応する。表示可能な言語は日本語/英語/中国語/韓国語など 14 カ国語となる。

WMA 形式でのダイレクトエンコード機能を搭載し、曲間を自動で感知して録音するオートシンク機能も備える。エンコード時のビットレートは 32/48/64/80/96/128kbps から選択可能。マイクと FM チューナも内蔵しており、ボイスレコーダとしても利用可能。FM 放送も WMA 形式で録音できる。

イヤホンはネックストラップとの一体型で、最大出力は 17mW×2ch。カラーは本体に関わらず、すべてホワイトとなっている。

PC とのインターフェイスは USB 2.0 Full Speed で、

ストレージクラスもサポートする。対応 OS は Windows 98 SE/Me/2000/XP、Mac OS 9.2.2/10.1.2 以降。

電源は単 4 電池 1 本で、連続再生時間は約 17 時間。外形寸法は 74×31×20.1mm(縦×横×厚さ)。電池を除く重量は約 29g。ライン入力用のケーブルや USB ケーブルなどが付属する。

カラーはホワイト(W)、ピンク(P)、オレンジ(OR)、グリーン(GR)、ブルー(BU)の 5 色。価格はオープン。

(7/1)

AVC Tech、Rio「SIGN」シリーズのサポートの引継ぎを発表

AVC Technology Japan は、リオジャパンにより販売されていた「SIGN」ブランドのオーディオプレーヤーのサポート業務を、AVC Tech が引き継ぐことを発表した。

SIGN シリーズは、「Si-200C」および「Si-300」の 2 製品が、2004 年 12 月から 2005 年 5 月まで Rio Japan により販売されていた。

香港 AVC Technology と Rio Japan の日本総代理店契約の終了に伴い、今回サポートが移管されることが決定されたもの。

(7/1)

KDDI、新たな無線アクセス用通信標準 802.16e の実証実験を開始

KDDI は、IEEE 802.16e に基づく無線局実験局免許を取得し、移動環境における基礎的な無線伝送実験に成功したと発表した。

IEEE 802.16e は、IEEE で現在標準化が進められている無線通信規格。固定無線アクセス手段としての IEEE 802.16-2004 と比べて、IEEE 802.16e は「モバイル WiMAX」とも称される。

すでに WiMAX として標準化されている IEEE 802.16-2004 が 10~50km の距離で最大 75Mbps の通信が可能であるのに対して、IEEE 802.16e は通信速度が最大 75Mbps と同じながらも通信距離が 2~3km と短いが、時速 120km でのハンドオーバーをサポートする。

KDDI の実証実験は大阪中心部で行なわれており、7 月からは同地区で 100 台以上の PC カード型端末などの移動局を使用して、移動体環境での IEEE 802.16e 規格の本格的な性能評価を目的とした実証実験を開始する予定。

KDDI では、都市部における第 3 世代携帯電話システムを補完する無線方式としての性能評価を行なう予定としている。

(6/29)

ファミ通.com ゲームミュージックダウンロードサービスを開始

リッスンジャパンは、エンターテインと提携し、ゲームミュージック専門音楽ダウンロード配信サービス『ファミ通.com ゲームミュージックダウンロード』を 2005 年 6 月 29 日より開始したと発表した。

『ファミ通.com ゲームミュージックダウンロード』は、ゲーム音楽が手軽に試聴・購入できるゲームミュージック専門の音楽ダウンロード配信サービス。

楽曲データの圧縮形式は Windows Media Audio、ビットレートは 128kbps。著作権保護技術は Windows Media DRM 9 を採用している。

Windows Media DRM 9 に対応するポータブルプレーヤーへの転送回数は 3 回から無制限、CD-R への書き込み 0 回~10 回までとなり、楽曲によって異なる。

楽曲はカブコン、セガ、タイトー、日本ファルコムなどの人気ゲーム楽曲約 1,400 曲を用意。価格は 1 曲につき 105 円から、アルバムでは 735 円からとなっている。

(6/29)

アイリバー、MPEG-4 対応のカラー液晶搭載プレーヤーを発表

アイリバー・ジャパンは、カラー液晶と MPEG-4 再生機能を搭載したオーディオプレーヤー「U10」を 2005 年 8 月下旬より発売すると発表した。

U10 は、2.2 型/320×240 ドットの液晶ディスプレイを搭載するオーディオプレーヤー。512MB、1GB モデルが用意される。

対応する音声圧縮形式は MP3/WMA/OGG/

ASF。ビットレートは MP3/WMA が 8~320kbps、OGG は Q1~Q10 をサポートする。

周波数特性は 20Hz~20kHz、S/N 比は 90dB、ヘッドフォン出力は 15mW×2ch(16Ω)。10 モードのプリセットイコライザーのほか、ユーザーEQ や SRS も搭載している。

液晶ディスプレイの表示色数は 26 万色。MPEG-4 動画の再生をサポートし、ビデオプレーヤーとして利用できる。フォトビューワ機能も搭載し、任意の音楽を聴きながらスライドショー再生することも可能。テキストビューワも内蔵しており、テキストを読みながら音楽再生も行なえる。

新開発のタッチパネル式インターフェイス「D-Click System」を採用し、操作性の向上を図っている。D-Click System は画面の上下左右を押し込むことで、操作キーとして動作するインターフェイス。液晶画面に上下左右の矢印が表示され、スイッチのように押し込むことで、楽曲検索や階層移動、モード変更などが行なえる。

また、Macromedia Flash Lite 1.1 を利用したゲーム機能も搭載している。

パソコンとのインターフェイスは USB 2.0。USB ストレージクラスにも対応。また、Gracenote Music ID 機能を搭載したオーディオ管理ソフト「iriver plus2」も付属する。WMA DRM 付きのオーディオデータの転送時には、iriver plus2 もしくは Windows Media Player を利用する。

FM ラジオやボイスレコーディング機能も装備。さらに、別売の U10 専用クレードルを利用して、MP3 形式でのライン録音が行なえる。U10 クレードルにはスピーカーを内蔵するほか、ワイヤレスリモコンも付属し、リモコンで U10 の操作が行なえる。

電源は内蔵リチウムポリマーバッテリー。外形寸法は約 69×47×16mm(幅×奥行き×高さ)、重量は約 69.5g。

(6/29)

アイリバー、オーディオプレーヤー「T20/30」を発表

アイリバー・ジャパンは、フラッシュメモリ内蔵オーディオプレーヤーの新モデル「T20」、「T30」シリーズを 2005 年 7 月下旬より発売すると発表した。

T20 は、スクエアな落ち着いたデザインとシックなカラーリングを採用した「ビジネスシーンにフィットする」オーディオプレーヤー。256/512MB、1GB モデルが用意され、256MB モデルは直販限定モデルとなる。

対応する音声圧縮形式は MP3/WMA/OGG/ASF。ビットレートは MP3/WMA が 8~320kbps、OGG は Q1~Q10 をサポートする。再生周波数帯域は 20Hz~20kHz、S/N 比は 90dB、ヘッドフォン出力は 15mW×2ch(16Ω)。

液晶ディスプレイは 3 行表示に対応。パソコンとのインターフェイスは USB 2.0。スライド式の USB コネクタを搭載しているため、ケーブルを用意することなく PC との連携が可能。データストレージとして利用できるほか、USB ストレージクラスに対応する。

オーディオ管理ソフト「river plus2」も同梱される。river plus2 にはアナログ録音した音楽ファイルの波形を解析し、楽曲情報を自動的に付加できる「Music ID」機能も搭載する。対応 OS は Windows 2000/XP。

FM チューナーや、ボイスレコーディング、ライン録音機能を搭載。時計/アラーム機能を搭載し、アラームの設定や FM 放送の予約録音などが行なえる。10 モードのイコライザーとカスタム EQ、SRS WOWなどを搭載する。

電源は内蔵リチウムポリマーで、最大 15 時間の連続再生が可能。外形寸法は 58×27×14.3mm (幅×奥行き×高さ)、重量は約 29.8g。イヤホンやネックストラップ、アームバンド、キャリーケース、USB 延長ケーブルなどが付属する。

カラーバリエーションは、1GB モデルがライトゴールドとチタンシルバー、512MB モデルがティンブレードとバイオレットブルー、256MB モデルがチタンシルバーの計 5 色。価格はオープン。

T30 は、「river ファンになじみの深いトライアングルデザインを採用した」というエントリークラスのオーディオプレーヤー。256/512MB、1GB モデルが用意され、256MB モデルは直販限定モデルとなる。

対応する音声圧縮形式は MP3/WMA/OGG/ASF。ビットレートは MP3/WMA が 8~320kbps、OGG は Q1~Q10 をサポートする。10 モードのプリセットイコライザーとカスタム EQ に加え、SRS WOW も搭載する。

液晶ディスプレイは 4 行表示に対応。パソコンとの

インターフェイスは USB 2.0。USB ストレージクラスに対応する。ボイスレコーディングや、ライン録音機能も装備する。

電源は単 4 アルカリ電池で、約 20 時間の連続駆動が可能。外形寸法は 60×30.4×22.1mm (幅×奥行き×高さ)、重量は約 27g (本体のみ)。イヤホンや USB ケーブル、ネックストラップ、アームバンド、キャリーケースなどが付属する。

カラーリングは 1GB と 512MB モデルがスカイブルー、ローズレッド、チタンシルバーの 3 色、256MB モデルがローングリーン。価格はオープン。

(6/29)

アップル、旧 iPod 用に「Podcast」対応ファームを公開

アップルコンピュータは、カラーディスプレイを備えた iPod (旧 iPod photo を含む) や、モノクロディスプレイの iPod、iPod mini 用のアップデート「iPod Updater 2005-06-26」を公開した。

iPod Updater 2005-06-26 は、iPod シリーズ全ての最新ファームウェアをまとめたアップデートファイル。カラー液晶採用 iPod 用のファームウェアがバージョン 1.2 に、モノクロ液晶の iPod 用がバージョン 3.1 に、iPod mini 用がバージョン 1.4 にそれぞれ更新される。

同ファームウェアを適用することで、6 月 28 日より発売が開始された新 iPod と同様に、「ポッドキャスト機能」が利用できるようになる。

ポッドキャスト機能は iTunes 4.9 で対応した機能で、Web サイトの音声ファイルを、RSS を利用してダウンロードするシステム。iTunes 上のポッドキャストメニューに登録されたデータを iPod へ転送できるようになる。

ポッドキャスト機能を利用するためにはこのファームウェアだけでなく、iTunes も最新版である 4.9 にバージョンアップする必要がある。

(6/28)

アップル、Podcasting 検索・管理機能を搭載した「iTunes 4.9」を公開

アップルコンピュータは、デジタル音楽管理ソフト「iTunes」の最新版「iTunes 4.9」を 2005 年 6 月 28 日より公開した。

対応 OS は Mac OS X 10.2.8 以降と Windows XP/2000。ただし、Windows 用の日本語版については近日中に公開する予定。

iTunes 4.9 では、新たに Podcasting の検索や管理を行なう「Podcast Directory」機能を搭載。Podcast Directory に登録されている 3,000 以上の無料 Podcasting を聴き、新着の番組を PC に取り込むことができる。PC に取り込んだ番組については、Auto-Sync により iPod に自動的に収録される。

これらの番組の中には ABC News、BBC、Disney、Newsweek などの人気番組や、ロスアンゼルス、KCRW やボストンの WGBH など米国の公共放送局も含まれる。

新着情報のチェック頻度や PC への保存期間などの設定も可能。複数の Podcasting を定期購読している場合でも、エピソードと日付によって整理し、一覧する機能も備える。

(6/28)

アップル、iPod と iPod photo シリーズを統合

アップルは、「iPod (アイポッド)」と「iPod photo (アイポッドフォト)」ラインの統合を発表した。

従来カラー液晶搭載モデルは「iPod photo」のブランド名で展開されていたが、新シリーズからは 1.8 インチ HDD 搭載の iPod は全てカラー液晶搭載モデルとなるため、iPod photo のブランド名は廃止される。

HDD 容量の違いで 20GB と 60GB モデルが用意される。

ハードウェア仕様は従来の iPod photo と変わらず、220×176 ドット/65,536 色表示の 2 インチカラー液晶を採用し、iTunes 上で指定したフォトライブラリや、iPhoto などのソフトの写真ライブラリのデータを iPod に取り込んで、フォトビューワとして利用できる。

再生対応オーディオフォーマットは MP3、AAC、WAV、AIFF、Apple Lossless と Audible。ビットレートは、AAC が 16~320kbps/MP3 が 32~320kbps までサポートする。対応フォトフォーマットは JPEG/BMP/GIF/TIFF/PNG。音楽を再生しながらの写真表示やスライドショー表示なども可能となっている。

20GB モデルと 60GB モデルの違いは、外形寸法と

重量。20GB モデルは外形寸法 61.8 × 16.1 × 103.5mm(幅 × 奥行き × 高さ)、重量 166g と、従来の iPod photo 30GB と共通。60GB モデルは約 61.8 × 19.1 × 103.5mm/183g で従来モデルから変更はない。

従来モデルからの変更点は、iTunes 4.9 で対応した「ポッドキャストリング」に対応したこと。ファームウェアがポッドキャストリング対応の最新バージョンとなり、ポッドキャストの中で聞いた部分にブックマークをつけて、次回再生時にそこから再生したり、ポッドキャストのネットワークをカラーで表示できるようになった。

周波数特性は 20Hz ~ 20,000Hz。イヤホン出力はコンポジットビデオ/アナログ音声出力としても利用可能で、テレビなどと接続して、iPod 内のフォトデータの再生が可能となる。付属のステレオイヤホンは、ネオジウム製トランスデューサーマグネットを採用した直径 18mm のドライバを使用。インピーダンスは 32Ω。

充電時間は約 5 時間(80%まで約 3 時間)。音楽再生時のバッテリー駆動時間は約 15 時間、音楽付きフォトスライドショー利用時は最大 5 時間。充電は AC アダプタとパソコンの FireWire 経由のほか、USB 2.0 からの充電にも対応する。本体下面に Dock コネクタを備えており、USB 2.0 のケーブルが付属するが、FireWire ケーブル(2,200 円)は別売りとなっている。

ヘッドフォンや AC アダプタ、USB 2.0 ケーブル、AC アダプタ、iTunes 4.9 などが同梱される。対応 OS は Mac OS X 10.2.8 以降と Windows 2000/XP。

(6/28)

OngakuDB.com、デジタルプレーヤーに関する調査レポートを発表

音楽情報サイト「OngakuDB.com」を運営する飯原経営研究所は、「携帯型デジタルプレーヤーに関する生活者調査レポート」の結果を発表した。

この調査はインターネットによるリサーチで、同サイトのモニター会員のうち 1,404 名の回答を集計したものの。回答率は 49.7%で男性は 557 名、女性は 847 名。調査期間は 2005 年 4 月 7 日 ~ 11 日。

所有する携帯型オーディオプレーヤーについては、最も多かったのが携帯型 MD プレーヤーで 49.9%。続いて携帯型 CD プレーヤー (38.8%)、「着うた」や音

楽データを再生できる携帯電話 (34.8%)、カセットプレーヤー (23.1%) となり、フラッシュメモリや HDD 搭載の携帯オーディオプレーヤーは 22.3% となった。いずれのプレーヤーも持っていないという回答は 15.4%。

男女差では、携帯型デジタルプレーヤーを所有する人は女性が 16.8% に対し、男性 30.7%。しかし、着うたや音楽データを再生できる携帯電話については女性が 37.1% となり、男性の 31.4% を上回った。

携帯型デジタルプレーヤーを所有する 313 名にそのメーカーを尋ねたところ、トップはアップルで 42.8%。第 2 位はリオで 9.9%、以下クワイエタイプ (8.6%)、アイリバー (7.7%)、ソニー (7.0%)、東芝 (3.5%)、その他 (16.9%)、わからない (3.5%) の順。

購入理由 (複数回答) では、「デザイン・色がいい」が 50.8%。続いて「たくさん曲が入る (容量が大きい)」(47.0%)、「価格が安い」(34.5%)、「形状がいい」(31.0%)、「操作がしやすい」(30.0%) が上位となった。

一方、「最も重要な購入理由」(単数回答) では、「たくさん曲が入る (容量が大きい)」(20.8%) がトップ。「価格が安い」(18.5%) が 2 位、「デザイン・色がいい」は 17.3%、「機能が豊富 (ラジオチューナーや録音など)」(7.0%)、「メーカーやブランドへの信頼」(5.1%) の順となった。

最も重要な購入理由をメーカー別に見ると、アップルでは「たくさん曲が入る (容量が大きい)」(30.6%)、「デザイン・色がいい」(29.9%) が他メーカー製品を引き離した。ソニーは「メーカーやブランドへの信頼感」(18.2%) が高かった。

メーカー別の満足度は、「とても満足している」ではアップル (32.8%)、ソニー (27.3%)、アイリバー (25.0%)、リオ (19.4%)、東芝 (18.2%)、クワイエタイプ (14.8%) の順。「まあ満足している」を加算すると、トップはアイリバー (95.8%) で、続いてアップル (93.2%)、ソニー (81.8%) となっている。

(6/24)

mpio、ジュエリー型オーディオプレーヤーの新モデルを発表

mpio とアドテックは、2004 年 10 月から発売しているデジタルオーディオプレーヤー mpio「FL300」のバージョンアップモデル「FL350 シリーズ」を 2005 年 6 月 25 日より発売すると発表した。

搭載するメモリ容量により 256MB、512MB、1GB モデルが用意される。

対応する音声圧縮形式は MP3/WMA。WMA の DRM もサポートする。ビットレートは MP3 が 8 ~ 320kbps、WMA が 32 ~ 192kbps (VBR 対応) に対応。最大出力レベルは 18mW × 2ch で、再生周波数帯域は 20Hz ~ 20kHz、S/N 比は 90dB

イコライザは NORMAL/POP/ROCK/JAZZ/CLASSIC/VOCAL を装備。また、サウンドエフェクト機能として PURE STUDIO/CONCERT SOUND/GROOVE/DYNAMIC BASS などの音場モードを備えている。

2 行表示の液晶ディスプレイを装備し、ID3 タグ表示も行なえる。FM チューナーを内蔵、マイクも内蔵し、WAVE (ADPCM) 形式での録音も可能になっているが、FM 録音はできない。

パソコンとのインターフェイスは USB 2.0 を利用。ストレージクラスをサポートする。

バッテリーは内蔵リチウムイオン充電電池 (220mA)。連続再生時間は約 10 時間 (MP3/128kbps 利用時)。充電はパソコンの USB ポート経由で行なう。

外形寸法は 30 × 50 × 12.8mm (縦 × 横 × 厚さ)、充電電池を含む重量は 29g。

カラーバリエーションは、ブルー、レッド、バイオレットの 3 色。価格はいずれもオープン。

(6/24)

NHJ、フラッシュメモリ搭載ポータブルプレーヤー「c@ndi」を発表

エヌエイチジェイは、ポータブルオーディオプレーヤー「v@mp」シリーズの新モデルとして、フラッシュメモリ型の「c@ndi」シリーズを 2005 年 7 月中旬に発売すると発表した。

搭載するメモリ容量により 256MB、512MB、1GB モデルが用意される。

対応する音声圧縮形式は MP3/WMA。WMA の DRM もサポートする。ビットレートは MP3 が 8 ~ 320kbps、WMA が 32 ~ 192kbps。

液晶ディスプレイなどは備えていないが、状態を知らせる LED ランプを搭載。再生中は緑に点滅、電

池残量が少なくなると赤く点滅するなど、発光パターンが変化する。

パソコンとのインターフェイスは USB 1.1 を利用。ストレージクラスをサポートしており、対応 OS は Windows 98 SE/Me/2000/XP、Mac OS 9.2~X。

電源は内蔵のリチウムポリマー充電電池。連続再生時間は最大約 5 時間。外形寸法は 15×27.2×42mm (幅×奥行き×高さ)、内蔵のリチウムポリマー充電電池を含む重量は約 17g。

カラーバリエーションは、256MB モデルがブルーとメタリックレッド、メタリックグレーの 3 色、512MB モデルがピアノホワイトとワインレッドの 2 色、1GB モデルはピアノブラックのみ。価格はいずれもオープン。

(6/24)

SCEI、PSP 用 UMD の物理フォーマットが標準規格に承認と発表

ソニー・コンピュータエンタテインメント(SCEI)は、国際標準化機関 Ecma International で、携帯ゲーム機「PSP」(プレイステーション・ポータブル)用の UMD (ユニバーサル・メディア・ディスク)が標準規格として承認されたと発表した。

Ecma は、光ディスクの国際標準化に長い歴史を持つ、スイスのジュネーブに本拠を置く、国際標準化機関。

オランダのアムステルダムで 2005 年 6 月 21 日に開催された、Ecma の総会において、UMD の物理フォーマットが規格番号「ECMA-365」の光ディスク規格として承認された。

今後本規格は国際的な公的標準化機関 ISO/IEC の合同技術委員会(JTC1)が認める迅速手続き(fast-track procedure)に基づいて JTC1 に提出され、ISO/IEC 会員各国により国際標準化に向けた審議が行われる。

UMD はソニーグループが提案する、直径 60 ミリで最大 1.8GB の大容量を持つ汎用の光ディスク。UMD には物理フォーマット上に複数の用途別論理フォーマットがある。

ソニーグループでは、今回の ECMA-365 の標準規格承認を契機として、今後 UMD の更なる可能性を提案していくとしている。

(6/24)

NTT ドコモ、4G に向けた次世代通信技術で 1Gbps の信号伝送に成功

NTT ドコモは、2005 年 4 月 25 日に取得した無線局実験免許により、第 4 世代移動通信システムに向けた無線アクセス実験装置を用いた屋外実験を開始し、2005 年 5 月 9 日に下り最大 1Gbps の信号伝送実験に成功したと発表した。

今回の屋外実験は、神奈川県横須賀市の市街地において、基地局装置と、時速約 20km で移動する移動局装置とを用いて実施。

無線アクセス方式として、さまざまな通信環境へ柔軟に対応できる「VSB-Spread OFDM (可変拡散率-拡散直交周波数分割多重)」方式を適用したに加え、同じ周波数で複数のアンテナから異なる信号を送信する「MIMO (Multiple-Input-Multiple-Output) 多重技術」においてはドコモが独自に開発した信号分離技術を適用している。

この方式により、100MHz の周波数帯域幅を用いて、1Gbps のリアルタイムパケット信号伝送を実現できることが実証した。周波数利用の効率を示す指標である周波数利用効率率は、10bps/Hz となっている。

ドコモでは、今回の屋外実験の成功を踏まえ、第 4 世代移動通信システムの無線アクセス方式の研究開発を引き続き推進し、国際標準化にも積極的に協力していく予定としている。

(6/23)

長瀬産業、Perception Digital 社製品の取り扱いを開始

長瀬産業 TRANSTECHNOLOGY は、Perception Digital 社 (パーセプションデジタル)のマルチメディア製品の取り扱いを開始すると発表した。

同社の Web 通販サイト「DVDirect」(ディーバイレクト)のみの販売となり、20GB HDD オーディオプレーヤー「PD-2000」と、5GB HDD プレーヤー「PD-1001」、SD カードスロット搭載のオーディオプレーヤー「PD-205」などをラインナップする。

PD-2000 は 1.8 インチ 20GB の HDD を搭載したオーディオプレーヤー。SD/MMC カードスロットも備えている。

対応する音声圧縮形式は MP3/WMA、WMA

DRM もサポート。SD メモリーカードスロットに収録した楽曲の再生のほか、デジタルカメラの撮影画像を SD から HDD にバックアップすることも可能。

ライン入力も装備し、MP3 形式での録音が可能。内蔵マイクによるボイスレコーディングに対応。テキストビュー機能も備えている。パソコンとのインターフェイスは USB 2.0。PD-2000 を USB の SD カードリーダーとしても利用できる。

AC アダプタやヘッドフォン、ライン、USB ケーブルのほか、Gracenote と共同開発したオーディオ管理ソフト「Trans Music Manager」も同梱。

Trans Music Manager では、CDDDB による楽曲取得機能のほか、アナログ入力した曲の波形を解析して曲情報を取得する MusicID 機能も搭載している。さらに、CDDD のアクセス情報などを元にして、プレイリストを自動作成する「IntelIMix」なども備えている。対応 OS は Windows 98 SE/Me/2000/XP。

電源は内蔵リチウムイオン充電電池で、バッテリー駆動時間は約 17 時間。AC アダプタのほか、USB 充電にも対応する。外形寸法は 67×96×18mm (横×縦×厚み)、重量は 150g。

PD-1001 は 1 インチ 5GB HDD を搭載したポータブルオーディオプレーヤー。

対応する音声圧縮形式は MP3/WMA、WMA DRM もサポート。ボイスレコーディング機能やライン入力からの MP3 ダイレクト録音、テキストビューなどを搭載する。

パソコンとのインターフェイスは USB 2.0。転送ソフトとして Music ID 対応の「Trans Music Manager」が同梱。バッテリーは内蔵リチウムイオンで、バッテリー駆動時間は 12 時間。AC アダプタのほか、USB 充電に対応する。

外形寸法は 52.5×79.2×17.7mm (横×縦×厚み)、重量は 85g。

PD-205 は、音楽データ記録メディアに SD/MMC を利用するオーディオプレーヤー。メモリは内蔵しない。

対応する音声圧縮形式は MP3/WMA、WMA DRM はサポートしない。本体に液晶ディスプレイも装備し、ID3 タグに確認が行なえる。イコライザも搭載する。

パソコンとのインターフェイスは USB 1.1。USB ストレージクラス対応となっている。電源は単 4 乾電池で、連続駆動時間は約 12 時間。外形寸法は 53×53×16mm(横×縦×厚み)、重量は 35g。

(6/23)

ジュピターテレコム、100Mbps のインターネット接続サービスを開始

ジュピターテレコム(J:COM)は、c.LINK 技術を採用した上下最大 100Mbps の集合住宅向けインターネット接続サービスを 2005 年秋より提供開始、2005 年 7 月下旬より販売を開始すると発表した。

このサービスは、集合住宅の外壁まで新たに光ファイバーを引き込み、集合住宅の棟内は c.LINK と呼ばれる技術を用いて、同軸ケーブルで加入者に最大 100Mbps のインターネット接続サービスを提供するもの。

高速ネット接続サービスを望む集合住宅を対象に一棟一括契約するもので、「J:COM NET 光」として全国 J:COM 局で販売を開始し、今秋から順次商用サービスを提供していく予定。

c.LINK は、米 Entropic Communications 社が開発した既設の同軸ケーブル上で最大 250Mbps のインターネット通信が可能な技術。

本サービスは c.LINK 技術を用いて世界で初めて開発されたモデムを使用するもの。

集合住宅では棟内 LAN 配線などの追加投資が不要なため、導入のために賃貸集合住宅のオーナーや分譲物件の管理組合が負担する初期投資額が大幅に削減できるとしている。

c.LINK 技術を用いた新サービスの投入で、J:COM のネット接続サービスには、下り 8Mbps タイプと 30Mbps タイプの他に、100Mbps タイプが加わることになる。

(6/22)

NEC と東芝、次世代 MRAM の大容量化に適したセル技術を開発

東芝と日本電気(NEC)は、次世代不揮発性磁気メモリ(以下、MRAM: Magneto resistive Random Access Memory)の共同開発において、独自の多層構造を有するセル構造を提案し、従来と比較し 5 倍以上の広い書き込みマージンを可能に

する MRAM セルを開発したと発表した。

MRAM は記録層の磁化方向によりデータを蓄積する不揮発性メモリ。

両社は今回、新たに多層構造記録層を有する MTJ 素子を開発し、本記録層の層間の磁気結合の強さを調節。低電流で、従来の 5 倍となる書き込みマージンの広いスイッチング特性を実現した。

さらに多層構造をさらに多層化することにより、熱安定性を保ちつつ電流の増大を抑制することが可能であることを実証し、将来にわたる微細化(スケールアップ)の可能性を提示したとしている。

NEC と東芝では、NEDO 技術開発機構の助成を受けて MRAM 開発を進めており、2005 年度には 250nm 設計ルールでの磁気抵抗素子作成技術と 130nm 設計ルールでの CMOS 作成技術を用いて、256MbitMRAM の実現に必要な基盤技術を確立する予定としている。

(6/17)

AVC Tech、新ブランド「SiGneo」で日本市場本格参入を発表

AVC Technology Japan は、日本国内でデジタルオーディオプレーヤー市場に本格参入することを発表した。

AVC Technology は香港 AVC Concept グループのデジタルオーディオ製品部門。グループ内に半導体ディストリビュータを有しており、フラッシュメモリなどの部品調達力や、月産 40 万台という自社工場のスケールを生かした生産面でのアドバンテージを生かして日本市場に参入する。

なお同社製品は、2004 年 12 月に Rio Japan が国内総代理店として販売展開を実施していたが、新たに日本法人を設立し、新ブランド「SiGneo(シグネオ)」のもと、積極的な製品展開を図っていく。

SiGneo ブランド 8 製品が 7 月より順次発売される。価格は全てオープンプライス。

「SN-F100」:7 月発売予定 鏡面に映える美しいディスプレイを備えたエントリーモデル

「SN-F110」:7 月発売予定 パステルカラーと柔らかな曲面を生かしたバフュームボトルをイメージしたプレーヤー

「SIGN SN-A200」:7 月発売予定 クリスタルをワンポイントにあしらった、アクセサリ感覚で身につけられるスタイリッシュなプレーヤー

「SIGN SN-A300」:7 月発売予定 二つの世界的なデザイン賞を受賞したトップデザインモデル

「SN-A400」:7 月発売予定 ブルーの淡い光が溢れ出るアクセサリのようなデザインのプレーヤー

「SN-M500」:7 月発売予定 カタナをイメージしたシャープなデザインのプレーヤー

「SN-M600」:7 月発売予定 コンパクトボディに迫力の 500mW 高音質スピーカーを内蔵したハイスパイクモデル

「SN-M700」:9 月発売予定 美しい高精彩 TFT カラー液晶を搭載し、MPEG4 形式のムービーを楽しむことが可能なプレーヤー

(6/16)

ナショナル Semiconductor、携帯機器用 3D オーディオアンプを発表

ナショナル Semiconductor ジャパンは、携帯電話などモバイル機器向けの 3D サラウンド対応オーディオアンプ「LM4845」と「LM4888」を発表した。

LM4845 は、モノラルアンプとステレオヘッドフォンアンプを内蔵するオーディオサブシステム。

3.3V 電源での平均出力は、モノラルアンプが 500mW(8Ω 時)、ステレオヘッドフォンアンプが 25mW(32Ω 時)となる。

ヘッドフォン用アンプはシングルエンド動作のほか、出力カップリング・キャパシタを不要にした OCL(出力キャパシタレス)方式にも対応する。

32 ステップのボリュームコントロール機能と、8 種の出力モード、3D インハント機能を搭載し、2 ワイヤ方式の I2C 互換インターフェイスと、3 ワイヤ方式の SPI 互換インターフェイスに対応する。

表面実装型パッケージで提供され、OCL モード時の所要外付け部品数は 7 つ、シングルエンド・モード時の所要追加部品数は 2 つとなる。そのほか、「超低電流シャットダウン・モード」(代表値 0.1 μA)も備える。

LM4888 はデュアルブリッジ接続対応のパワーアンプで、3D エンハンスモードを搭載。スピーカアンプとステレオヘッドフォンアンプをワンチップに統合し、サブシステム設計を簡素化できるとしている。

5V 電源での平均出力は4Ω時が2.1W、3Ω時が2.4W。3D エンハンスモードを備える。また、異なるロジックレベルしきい値を持つ2系統のヘッドフォン入力を装備。低消費電力シャットダウンモードも搭載する。

携帯電話などにMP3プレーヤー、FMラジオなどのオーディオ機能を追加することが可能で、出荷はすでに開始しており、価格は1,000個ロット時でLM4845が275円、LM4888が165円となる。

(6/16)

ライブドア、公衆無線 LAN 接続サービス「D-cubic」の提供を開始

ライブドアは、公衆無線 LAN サービス「D-cubic (ディーキュービック)」を2005年7月末より首都圏一部のエリアで無償試験サービスとして開始し、2005年10月より正式サービスに移行する予定と発表した。

D-cubic は、IEEE 802.11g および IEEE 802.11b に準拠した公衆無線 LAN サービス。サービスエリアは東京都の山手線圏内で、約2,200台のアクセスポイントを設置する予定。

アクセスポイントは既設電柱への設置を基本とし、主要地域の大型商業施設にも設置するとしている。

セキュリティは指定のSSIDとWEPキーのほか、IDとパスワードによるWeb認証も行なう。また、IEEE 802.1X 認証にも後日対応予定としている。

料金は初期費用が1,050円、月額料金が525円。利用にはlivedoorのIDが必要で、IDを取得すればD-cubicから無料でライブドアのポータルを利用できる。

(6/16)

KDDI、「EV-DO Rev.A」の2006年導入を発表

KDDIは、auのCDMA 1X WINで使用されているCDMA2000 1xEV-DO方式を機能拡張した新たな

通信方式「CDMA2000 1xEV-DO Rev.A」を2006年中に展開すると発表した。

「CDMA2000 1xEV-DO Rev.A」は現行のCDMA2000 1xEV-DO方式を機能拡張したもので、Rev.Aでは、データ通信速度が下り3.1Mbps、上り1.8Mbpsに高速化されるとともに、パケット通信の遅延抑制などの品質制御が可能になる。

また、CDMA2000システムの更なる高速化や、様々な通信システムの相互補完によるシームレスなサービスを提供するための次世代通信インフラとして、固定移動統合網である「ウルトラ 3G」の構築の推進も合わせて発表した。

同社は世界の主要なCDMA事業者や通信機器メーカーとともに3GPP2(正式名称:3rd Generation Partnership Project 2)において、次世代に向けたCDMA2000規格の改良を検討。

ここでは、次世代CDMA2000無線方式を「Enhanced cdma2000」と呼称し、下り100Mbps～1Gbps、上り50Mbpsという通信速度、VoIPへの対応や周波数の利用効率の向上、現行のCDMAシステムとの互換性を保つことなどを要件とした標準規格を2007年中に完成させることを目標としている。

同社では「Enhanced cdma 2000」を導入する意向であり、携帯電話と固定網のADSLやFTTH、無線LANなどのとの融合を図った新たなネットワーク網「ウルトラ 3G」の構築を、2007年頃を目処に開始する。

同ネットワークでは、IMS(IP Multimedia Subsystem)/MMD(MultiMedia Domain)といった3G向けIP通信基盤に準拠する形となり、固定電話と携帯電話の区別を意識させないデータ通信サービスやマルチメディアサービスの構築が図られるとしている。

(6/15)

EMD Magazine 第45号

発行 2006年1月29日

発行所 音楽配信関連情報サービス

責任編集 宮腰 温

レイアウト 株式会社アイビルダーズ